

経営比較分析表（平成28年度決算）

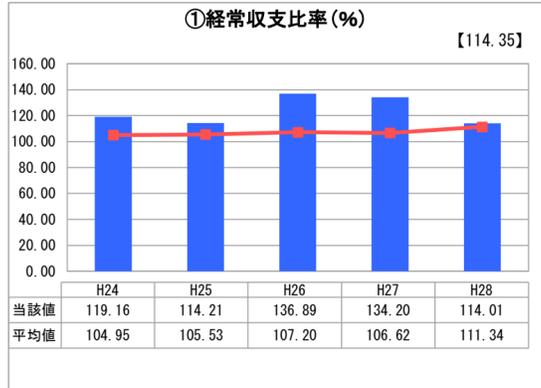
福岡県 築上町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	その他、自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.14	67.61	4,800	

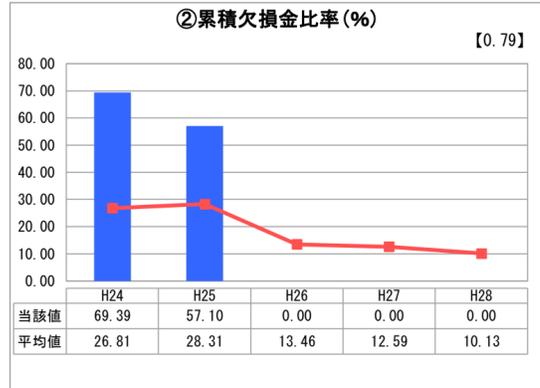
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,063	119.61	159.38
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
12,746	26.26	485.38

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均	

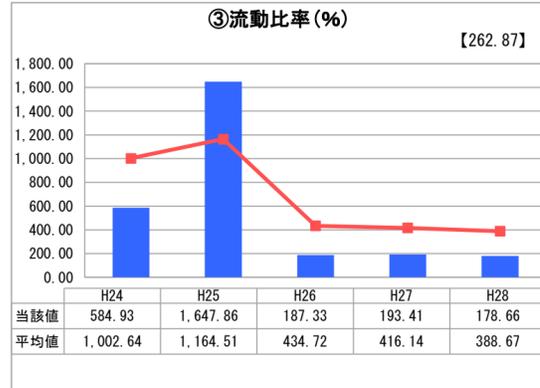
1. 経営の健全性・効率性



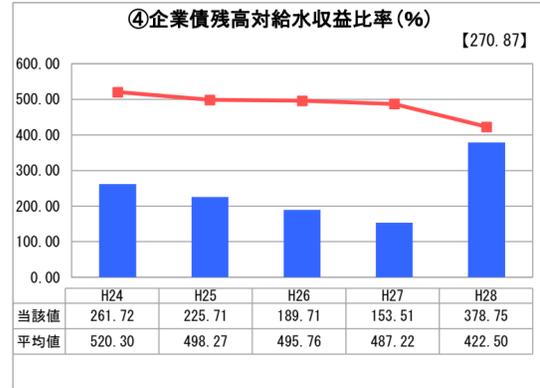
「経常損益」



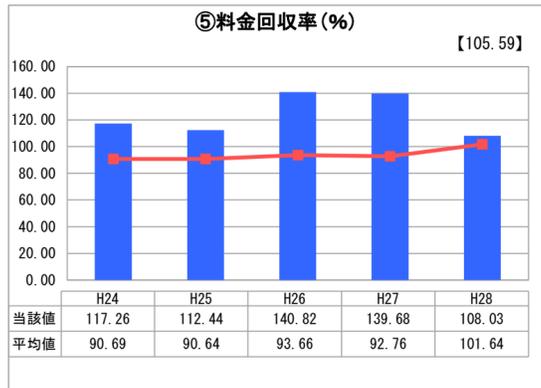
「累積欠損」



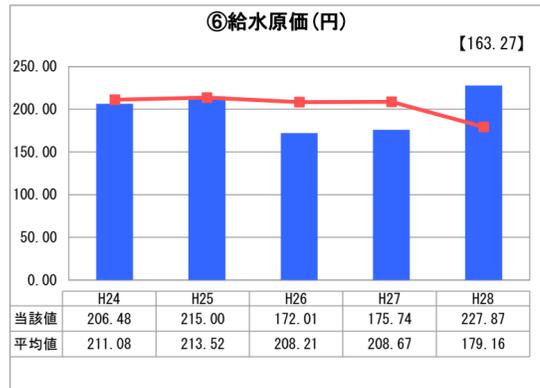
「支払能力」



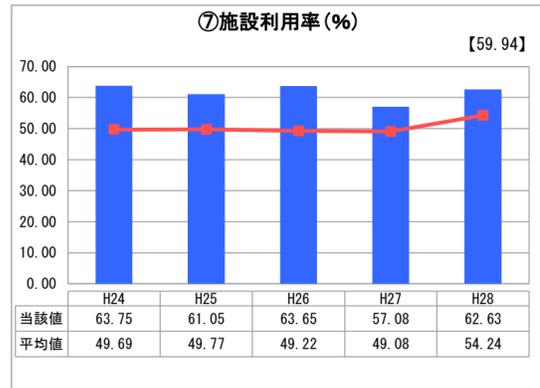
「債務残高」



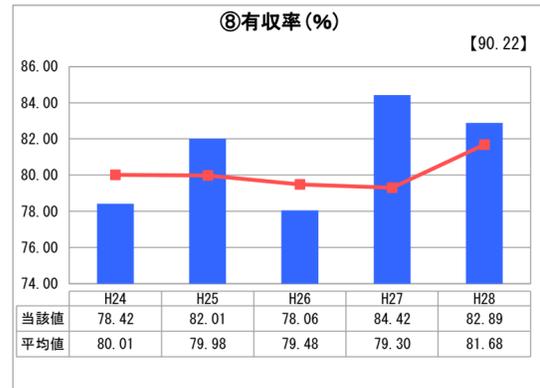
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

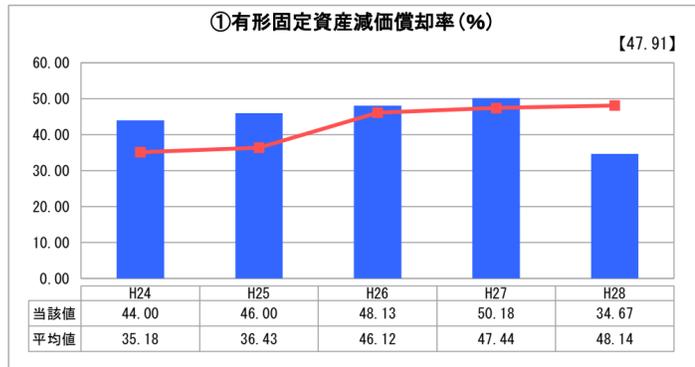


「施設の効率性」

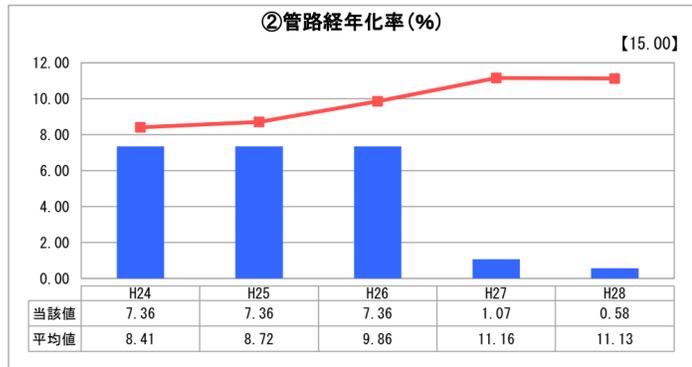


「供給した配水量の効率性」

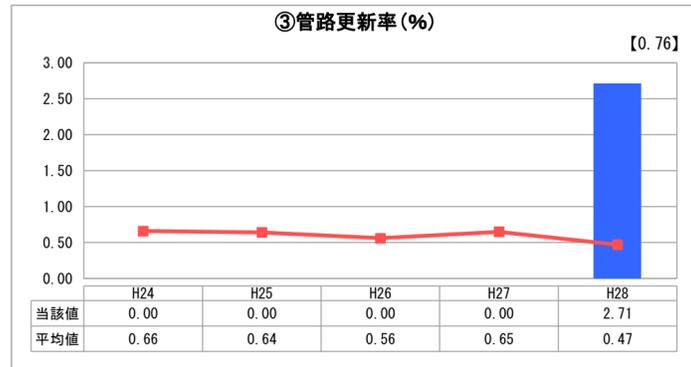
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の状態については、現在経常収支比率114.01%、累積欠損金比率0.00%となっており経営状態としては健全となっている。また、企業債残高対給水収益比率378.75%、料金回収率108.03%、施設利用率62.63%、有収率82.89%と類似団体の平均値より健全となっている。また、流動比率については類似団体と比較し低くなっているが、一時借入等は行っておらず100%も上回っていることから健全であると考えている。今後企業債のピーク期を過ぎればより健全化できると予測している。最後に給水原価について、給水原価が他類似団体平均と比較し高くなっているが京築地区水道企業団から受水しているため削減することは難しいが今後方法を模索し削減を行いたい。

2. 老朽化の状況について

老朽化の状況については非常に健全である。有形固定資産減価償却率34.67%、管路経年化率0.58%と類似団体平均と比べ非常に健全な状態となっている。

全体総括

全体として経営状況及び管路老朽化状況共に健全な数値となっている。今後給水原価が減少するような方法を模索し経常収支比率の改善に努めて行きたい。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。